

2009

12

発行:2009年11月25日
(株)長谷工総合研究所(TEL)03-3586-5801

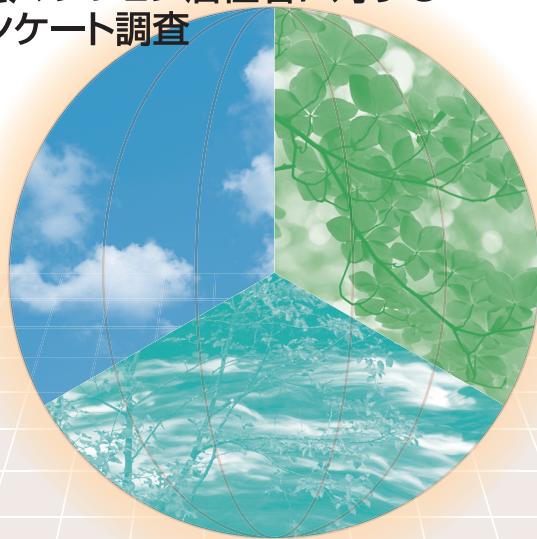
暮らしから考える

HOUSING 未来予想

・青森大学教授・エッセイスト・ジャーナリスト
見城美枝子SPECIAL REPORT
特集レポート

環境問題と住宅

Vol.2

分譲マンション居住者に対する
アンケート調査

<笑う門には福来る>

不景気の負のスパイラルが回り、不景気な顔が多くなった。このようなときに笑っていられるかという顔である。日本では東北の角を鬼門と呼ぶが、鬼門のその後ろの家にとっては東南の角に当たり、一番気持ちの良い場所となる。前に立つ家の鬼門は、こちらにとって笑門。福を呼ぶ大切な入り口とそう思う心かけが福を呼ぶのではないかと思う。義太夫節の稽古では、「笑い三年 泣き三月(みつき)」といわれるほど笑う仕種が難しいという。現実も同様かもしれない。

早分かりQ&A

Q

環境問題に対する関心度は?

A

環境問題に対する関心度を年齢別・住宅種別にみると、20歳台では賃貸住宅居住者の「関心あり」の回答が74.6%と最多。高年齢層では分譲マンション・持家戸建住宅居住者の関心も高く、50歳台では持家戸建住宅で85.3%、分譲マンションで82.1%、賃貸住宅で77.6%が「関心あり」と回答。また、年収が高くなるほど、関心が強い層が多い。

Q

具体的な行動に対する実践度は?

A

具体的な活動・行動の実践度をみると、分譲マンション居住者では「ゴミの減量やゴミの分別を徹底する」(81.2%)、「節水に努める」(79.6%)、「節電に努める」(74.1%)は70%を上回るなど、持家戸建住宅・賃貸住宅居住者と比べて実践度の高い項目が多い。

Q

環境に配慮した住宅については?

A

「断熱性能、気密性能を向上させた住宅」で8.1%、「オール電化住宅」では6.1%が「購入を決めているもしくは住んでいる」と回答。この2つを含め、「節水型シャワー・便器を設置した住宅」、「太陽熱の集熱システムを導入した住宅」、「住宅用太陽光発電システムを導入した住宅」に対する「購入意向あり」との回答は50%を上回った。

トレンドエクスプレス
カーシェアリング
(その1)
環境にもサイフにもやさしい
カーシェアリング

1987年にスイスで始まったといわれるカーシェアリングは、1999年ごろ日本でも具体的な実験がスタート。「近年、車ばなれした若者が必要なときに必要な分だけ利用」「不況でマイカーを手放す熟年層が増加」で、関心度・認知度が急速に高まり普及し始めている。黎明期はセカンドカーの利用を中心だったが、最近は利用目的が多様化。環境破壊抑止効果と共に利用者のマイカーコスト削減にも寄与。貸出・返却場所が近場に必要となるカーシェアリングにはマンションが最適といえる。

変わる街探検隊 第49回
横浜市の副都心、南部地域のターミナル拠点
上大岡駅界隈(横浜市港南区)

横浜市の副都心の一つ、「上大岡」駅周辺地域は、1990年代以降、上大岡駅西口地区(横浜市が施行者)と、上大岡駅前地区(京浜急行電鉄が施行者)の再開発事業が進み1997年に完了。また、上大岡中央商店街の地域などもB地区として再開発が実施された。現在は、上大岡駅C南地区の再開発事業が進行中。2010年春に三越上大岡店旧館跡地に複合施設が開業予定。

2009年10月
首都圏・近畿圏の
マンション
市場動向

首都圏

新規供給戸数	3,386戸	(前年同月比) △20.1% ↘
初月販売率	69.0%	(前年同月比) 6.0ポイント ↗
平均価格	4,619万円	(前月比) 2.0% ↗
分譲m単価 [3.3m単価]	662千円 [2,188千円]	(前月比) 6.1% ↗

近畿圏

新規供給戸数	2,003戸	(前年同月比) △7.4% ↘
初月販売率	62.4%	(前年同月比) 0.4ポイント ↗
平均価格	3,117万円	(前月比) △14.3% ↘
分譲m単価 [3.3m単価]	456千円 [1,508千円]	(前月比) △6.6% ↘

寄稿 関西復権を考える Vol.13

逆風の中で少しずつ変化している
大阪のこれから～
「関西復権」の中間検証

・株式会社 ANALOG 佐野嘉彦

平松市長、橋下知事の誕生で大阪は次の時代への一步を踏み出した。都心居住が進み新線も開業。「阪神なんば線」は快調な滑り出し。「京阪中之島線」は苦戦するが周辺開発で好転もあり得る。「JRおおさか東線」の延伸にも期待。地域を対象とした「まち歩き・まち遊び」という新しい大阪観光のあり方「コミュニティ・ツーリズム」に注目が集まる。産業では、「ソーラー・ペイ」「バッテリー・ペイ」それらを統合した「グリーン・ペイ」の概念が広まる。関西復権には地域資源の掘り起こしと、広域連携によるアジアでの存在感の確保が重要だ。